

専徳寺報

第483号

令和6年9月15日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

http://sentokuji-iwakuni.net/

岩国 専徳寺

検索

専徳寺納骨堂受付中

秋あき讚さん仏ぶつ会え法ほう要よう (併修戦没者追悼法要)

御案内

秋のお彼岸をご縁に法座を開きます。皆さんのお元氣な姿をお待ちしております。

日程

9月28日(土) 昼 1時半〜3時半
29日(日) 朝 10時〜12時

ご講師

中央仏教学院 院長

福間 義朝 師 (三原市)

●参拝セット

①お念珠・②聖典・③門徒式章・④聴聞カード
どうぞお持ちください。

秋の展示会

●作品募集ー秋の展示会
ご門徒の方の作品を展示いたします。

絵画・手芸品・工芸品等、ご門徒皆様の作品を募集いたします。法要前日(27日)までにお持ちください。再来月の永代経法要まで展示させていただきます。



ひとすじに おろかにかえれ 法の道

己が力を なにたのむらん

今日の日も またつゆの命 ながらえて

御仏の声を きくぞ嬉しき

仏より無上の宝 もらう身は 袋破れて 出づる念仏

夢の世に 名残惜しんで 新幹線

重荷背負うて 仏まかせ 着いた所は 浄土駅

川畑ユキヨ (八十四才)

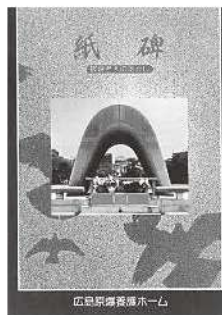
(『紙碑』第二集(昭和60年発行)より)

被爆体験記「紙碑」

昭和50年、広島原爆養護ホーム入所者の中で「直接被爆」された72名の被爆証言記録「紙碑」が発行されました。

「原爆は、人間のいのちくらし、こころのすべての面にわたる、人間と人間社会のトータルな崩壊であるといわれますが、本書もまた、その事を余すことなく明らかにしています(あとがきより)」

その後「紙碑」は5年ごとに発行され、令和2年も11名の方があらたに証言されています。下のQRコードを読み取ると全ての「紙碑」を閲覧できます。戦争の悲惨さを忘却せずに受け継ぎたく思います。



QRコード

如来・人・言葉 136

りん終すんで 葬式すんで

藤實 無極 (滋賀県・報恩寺前住職) (西本願寺執行長)

りん終すんで 葬式すんで みやごころすませてもらて なむあみだぶと うきよにをるよ

才市さんは本当に聴聞(聞法)した人です。ほうほうのお寺参りは申すにおよぼず、下駄を作りながらご法義の味わいをカンナくずに書き、それを夜になるとノートに写し、翌朝お寺(安楽寺)に持って行き、梅田謙敬和上に見ていただいて味わいを確かめました。ねてもさめてもご法義から離れることができなかったようです。だから、



しゃばも浄土も みなひとつ十方みじん 世界も わしがもの ありがたいな しゃばですること かぎょう いとなみ することが 浄土の荘厳に これがかわるぞよ

と、まさに正定聚(※1)の身のうえであること

とを、慶喜(よろこび)したと申せましょう。



だから、臨終すんで、葬式すんで、寂靜無為の樂(※2)に心住ませてもらて、南無阿弥陀仏と浮き世におけるよーと言いつけることができたのです。もはや娑婆と浄土を区別する必要もない才市さんは、南無阿弥陀仏をいただいた時に仏さまの蓮台(南無阿弥陀仏)に乗せられているので、臨終も葬式もすんで(終わつて)しまつたと。

私は山陰の生まれであり、温泉津という土地柄、風土、環境をよく理解しています。厳しい立地条件が純朴な人間性を育て、妙好人を輩出したと考えています。そして育てる人に遇っているということ、聞かねばならないみ教えを聞くことができ、ご本願を信じ、お念仏申す身にならせていただいた事実を、才市さんの多くの詩が物語っています。私たちも「法味愛樂」(※3)の日暮らしを心がけたいものです。

- ※1 正定聚…必ずさとりを開いて仏になる事が正しく定まつている事
- ※2 寂靜無為の樂…阿弥陀仏のお浄土「極樂」の世界。
- ※3 法味愛樂…仏の法の味をよろこび好むこと。

寺内だより



●ご恩を偲び「法事勤修」 8/5〜9/9

ついたち礼拝(月のはじめをお寺から)

10月1日(火)(第127回)、11月1日(金)(第128回)

お慶び申しあげます【入仏式】

家の「和室」が「仏間」に名称が変わりました。ご恩報謝のお念仏の生活をどうぞ大切に。

ご存じですか

千鳥ヶ淵戦没者追悼法要

浄土真宗本願寺派では、戦争によって尊いいのちを失われたすべての方がたを追悼し、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、毎年9月18日(※1)、東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、「全戦没者追悼法要」をお勤めしています。



18日の13時半から、千鳥ヶ淵墓苑と同じく、多くのお寺が一斉に平和の鐘をつきます。「讃佛偈」に「響流十方」とお示しのように、仏の教えが十方に響き渡ることの願いから、寺院において仏法を伝える大切なものとされる鐘の響きによって、平和への誓いと願いを新たにします。

※1 9月18日は、15年にわたる「アジア・太平洋戦争」につながっていった「満州事変」の発端である「柳条湖事件」が1931(昭和6)年に起こった日です。

※2 法要は下の本願寺のYoutubeチャンネルから生中継されます。(本願寺の公式 Youtube チャンネル)



午前9時より45分間。正信偈和讃・法話。